◆池田町商工会◆

会報委員会

商工だより

平成24年8月号

第33回いけだ夏まつり開催！

8月15日(水)第33回いけだ夏まつりが大通1・2丁目を会場に開催されました。
マイマイ蛾もいない、雨も降らない、今年は久しぶりに天候に恵まれての開催でした。
午後4時30分。恒例となった「池田高校吹奏楽部」でスタート。
各種大会で、上位入賞を果たしている「池田高校吹奏楽部」。踊りながらのパフォーマンスは沿道を埋めた町民にも強烈なアピール。単なる演奏だけではなく、「魅せる吹奏楽」として、すっかりお馴染みになりました。また、今年は田中校長先生が飛び入り参加。生徒さんの演奏をバックに歌謡曲を2曲熱唱！恐れいりました。

「町民うまい物市」も、多くの町民で混雑。用意した食材が早い時間で品切れするなどしましたが、大きな混乱はありませんでした。　「ちびっ子縁日」も大盛況。
今年は、スタンプ会のイベントが、4年に一度の「スタンプクィーン人気投票」「5,000円の商品券が当たる抽選会」ということもあり、注目を集めました。
なお、スタンプクィーンには、旭町の鳴海しおりさんが、準スタンプクィーンには、内海あや子さん(利別au)、小島綾華さん(遊佐組)がそれぞれ選ばれました。

多くの皆さんから協賛いただいた「納涼花火大会」も河川パークで予定通り打ち上げられ、身近で見る大輪の花火に歓声が上がっていました。
一番心配をしていた盆踊り。人出が多かったこともあり、「親子盆踊り」は大勢のちびっ子が参加。浴衣姿のちびっ子が盛り上げてくれました。
更には、昨年雨のため中止となった「仮装盆踊り大会」。年々参加団体が減少するなか、今年も不安でしたが、町内外を含め9団体、7個人(総勢150名)が参加。趣向を凝らした仮装で沿道を埋め尽くした町民を楽しませてくれました。

「いけだ夏まつり」は野外でのイベントです。天気だけが気がかりでした。どんなに用意周到に準備をしても、天候次第で結果は大きく変わります。その点今年は申し分なし。
特に大きな混乱もなく、また、トラブル、事件なども発生することがなく、会員の皆様の協力のもと、無事に終えることが出来ました。ご協力に改めて感謝申し上げます。

●●第 33 回いけだ夏まつりフォトスナップ①●●

第 2 位に輝いた 11 丁目町内会　「仮面舞踏会」

第 3 位の池田光寿苑　「よさこい」

●●第 33 回いけだ夏まつりフォトスナップ②●●

オープニングは池高吹奏楽部

田中校長も飛び入りで演歌を・・・・

ビンゴカード発売を待つ長蛇の列

ビンゴマシーンに注目！

水風船ナイスキャッチ出来ず！

親子でナイスキャッチ？

賑わう「ちびっ子縁日」

ラリーカーも展示

●●第 33 回いけだ夏まつりフォトスナップ③●●

賑わう「うまい物市」

スタンプクィーンの皆さん

浴衣姿で親子盆踊り

第 1 位「アジア黄金舞踊団」（幕別町より）

第 4 位「東京スカイツリー」（幕別町より）

第 5 位の Jain 集合「ひまわり娘」

第 6 位「虹色バイヨン」（幕別町より）

2 丁目町内会の皆さん

●●第 33 回いけだ夏まつりフォトスナップ④●●

虹の家の皆さん

今年もタイガーマスク参上

個人参加では牛が・・・・

坂本さんをはじめいつもの名調子

子ども達の太鼓名演奏！

仮装盆踊り順位の発表を待つ皆さん

田岡会長お礼の挨拶

勝井町長は踊り手でも参加

シーニック・バイウェイって何？

シーニック・バイウェイ(Scenic Byway)とは、景観・シーン(Scene)の形容詞(Scenic)と、わき道・より道を意味するバイウェイ(Byway)を組み合わせた言葉です。地域と行政が連携し、景観や自然環境に配慮し、地域の魅力を道でつなぎながら個性的な地域・美しい環境づくりを目指す施策です。

アメリカで先行的に取り組まれている制度を参考に、北海道に合った仕組みを考えて、平成17年度より全国に先駆けて「シーニック・バイウェイ北海道」として本格的にスタートしました。みちをきっかけに地域と行政が連携し、景観や地域資源の保全・改善の取組みを進めながら、美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくり、活力ある地域づくりなどの活動を行っています。

2012年3月現在、シーニック・バイウェイ北海道には、指定ルートが11あります。

十勝では、北西部を中心とした「十勝平野・山麓ルート」、南部を中心とした「南十勝夢街道」中部を中心とした「トカプチ雄大空間」の3つがあり、池田町は「トカプチ雄大空間」の中にあります。「トカプチ雄大空間」を構成しているのは、帯広・芽室・音更・幕別・池田・豊頃・浦幌・本別の1市7町となっており、行政、各種団体(商工会等)が定期的に連絡会議を開催し、活動方針の確認などを行っています。

●テーマ/十勝型産業の創出と人口増加

●活動方針/

①「観光」ルートの地域資源発掘に力を入れ、魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行います。

②「地域づくり」ホスピタリティーの向上、情報共有や地域住民との連携強化などによる人づくり・街づくりを推進し、十勝型産業の開発を目指します。

③「景観」美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、カフェの整備を進めます。

④「環境」環境モデル都市・エリア実践のための連携を強化し、環境に関わる新産業による就業人口や移住・定住人口の増加を目指します。

《各種お知らせ》

パソコン講習会を開催します

商業部会主催のパソコン講習会を開催します。昨年同様、帯広高等技術専門学院の協力をいただきます。今年の講習内容は「エクセル基礎」。概略は下記のとおりですが、詳しくは、追って案内文書をお送りします。

記

◆エクセル基礎

1. 開催日程　　平成24年10月15日～18日(4日間)　18時10分～21時まで
2. 開催場所　　商工会館2階会議室
3. 受講料　　無料。但しテキスト代は自己負担となります。

『池田警察署からのお知らせ』①

8月1日の午後、池田町内のお宅に消火器の点検をかたる2人組の男が現れ「消火器の交換が必要」と持ちかけましたが、家人に不審がられると逃げるように立ち去るという事案が発生しました。

被害こそありませんでしたが、「点検商法」と言われる悪質商法と考えられます。対処方法としては、決して家の中に入れない・相手の服装で信用しない・「義務」や「法律」等の難しい言葉に騙されない・身分証の提示を求める等がありますが、しつこいときは迷わず 110 番通報しましょう。

「池田警察署からのお知らせ」②

池田警察署管内では、8 月に入り学校荒らし被害が発生する等、今後も侵入窃盗被害の発生が心配されます。まだまだ暑い日が続きますが、窓を開けっ放しで外出等はしていませんか？

侵入被害を未然に防ぐには、確実な施錠確認（二重ロックの励行）、センサーライトの取り付け、窓用警報機の取り付け等が有効です。また、犯人は昼間に下見に来ている可能性がありますので、昼夜を問わず見慣れない人、車をみかけたときには 110 番または池田警察署への通報をお願いします。

「池田警察署からのお知らせ」③

タイヤ交換が終わるとつい無関心になりがちなタイヤの保管ですが、今年全道で発生したタイヤ盗難は、7 月末時点で約 1,100 件、被害総額約 1 億円にのぼっています。例年被害はタイヤ交換の時期に多発していましたが、今年は 6 月、7 月にも多く発生しており、タイヤ交換が近づく秋にかけて、より一層の注意が必要です。被害防止のためには『屋外に放置したりせず、鍵のかかる場所に保管する』、『定期的に保管場所を確認する』、『タイヤ販売店等で行っているタイヤ保管サービスを利用する』の 3 点が有効です。

東日本大震災・地域福祉活動支援チャリティーコンサート in 池田町のご案内

東日本大震災・地域福祉活動支援チャリティーコンサートが池田町で開催されます。

池田町出身の「大前あつみ」氏がリーダーを務める「大前あつみ＆サザンクロス」の歌謡ショーをはじめ、ラテン、タヒチアンダンス、フラダンスなど多彩な催しでコンサートを盛り上げます。池田のおやじバンド「ザ・ブルーサンダース」も友情出演します。

「大前あつみ」氏は、池田町の出身で、グループを率い、日本全国で「チャリティーコンサート」を行っています。ヒット曲には、「好きですサッポロ」、「意気地なし」、「足手まとい」などがあり、皆さんも耳にしたことがあると思います。

今回のコンサートの収益は全額池田町社会福祉協議会に寄付をすることになっており、商工会としても、地域貢献の見地から全面的に協力をすることになりました。

会員の皆様には、いろんな意味で協力をお願いすると思います。宜しくお願いいたします。

詳細は下記のとおりです。

記

◆チャリティーコンサート in 池田町

1. 開催日時　：平成２４年１０月２８日(日)　午後４時開演(３時３０分開場)
2. 開催場所　：池田町田園ホール
3. 入 場 料　：３，０００円(全席自由)
4. 後　　援　：池田町、池田町社会福祉協議会、池田町教育委員会
5. 協　　力　：池田町商工会、池田町観光協会、社会福祉法人　池田光寿苑

※チケットの申し込み・問い合わせは、池田町商工会、池田町田園ホールまで

《コラム》

え！同級生？

10 月 28 日(日)に、開催される「東日本大震災・地域福祉活動支援チャリティーコンサート」。このコンサートを企画し、メインで出演をする「大前あつみ＆サザンクロス」の大前君は、私の同級生である。池田小学校時代(今から 50 年近く前)に、同じ学年であった。

今年の 2 月、チャリティーコンサートを開催するにあたり、協力要請のため、商工会を訪れた。お互いに顔を見合わせ「見たことがある顔だ」。しかし、残念ながら半世紀も前のことなので、詳しくは思い出せない。

当時、池田町は、鉄道の町として大いに栄えた。人口も今の倍以上の 17,000 人もいた。小学校も 1 学年あたり 300 人もいた。(50 人×6 クラス)。全校生徒は 1,800 人にもなる。現在の状況を考えるとすごいことだ。

そんな同級生が東京を中心に活躍している。エールを送りたい。

サザンクロスと言えば、「好きですサッポロ」、「意気地なし」、「足手まとい」などのヒット曲で知られる「ムード歌謡」の雄だ。カラオケなどで、日本全国で歌われている。そのグループのリーダーが池田出身となれば、自ずと力が入る。

今回は、池田出身の彼のいわば「凱旋コンサート」になる。町内には同級生も沢山いる。何とか盛り上げて、成功させたいと思う。

(T・O)

商工会月刊ダイヤリー

9 月

1 日	SL とかち号運行　池田⇔帯広	於　池田駅
2 日	SL とかち号運行　池田⇔帯広	於　池田駅
5 日	防犯教室	於　池田警察署
18 日	いけだ DE ナイト実行委員会	於　商工会

10 月

7 日	第 39 回池田町秋のワインまつり	於　イベント広場
28 日	チャリティーコンサート in 池田町	於　田園ホール